

アイデアを、実現につなぐ

YOKAPROの思考をご紹介します



ふるさとの“よかもん”にともに向き合う

いいアイデアや熱い思いがあるのに…

こんなことできたら、素敵だよね！
こういうこと、やってみたい！

『でも…』

- 誰に何を相談すればいいか分からず、最初の一步が踏み出せない。
- 企画書は作ってみたものの、自信がない。「で、結局どうするの？」と言われてしまう。
- 関係者が増えるほど話がまとまらなくなる。マネジメントの時間が増えて「あれ、自分何がしたいんだっけ？」みたいになる。

こんな状態へ陥ってしまう方へ、
YOKAPROの思考をご紹介します



なぜ企画が進まないのか？

あなたのやり方、次の4つのどれかにあてはまらないでしょうか？

想い先行型

やりたいこと・熱量
↓
とりあえず動く
↓
周囲にうまく伝わらない
↓
「いい話だけど…」で止まる



正解探し型

成功事例・補助金探し
↓
条件に当てはめて企画
↓
自分の違和感を後回し
↓
途中で納得できなくなる



実行丸投げ型

アイデア
↓
誰かが動いてくれる前提
↓
体制・役割が決まらない
↓
自然消滅



形から入る型

見た目、どうみられるかの話
↓
スケールは大きく！
↓
資金が足りない
↓
続かない



多くの企画が止まるポイント

1. 構想が「絵にかいた餅」

理想は高いが、予算や法律の壁を越えられない。
「別の道」「まわり道」の選択が浮かばない。



2. 実行体制が曖昧

「だれのプロジェクトなのか」が曖昧。
人はいても、実行力へ結ばずに、ボールが落ちる



3. 共感「いいね！」で終わる

「いいね！」で盛り上がった後、具体的に動き出せない。
計画力がなく、共通のスケジュール感がない。



まず、企画実現のために、企画を多角的に見よう！

01.

プロジェクト全体のイメージを
1枚に落とし込んでみる

- ざっくりでもいいから、
- ビジョンを描く
- スケジュール表をつくる
- コスト規模感をだす
- 関係者マップをつくる

鳥の目でみる



03.

どこで止まりやすいか、
事前に把握する

- プロジェクト全体イメージの中に、これがうまくいかなかったら止まりそうなリスクを書き出す

02.

自分たちだけでは難しいことを
正直に把握する

- 強み・弱み表をつくる
- 機会・脅威表をつくる
- クロスSWOT分析表のうち、強み×機会の戦略と、弱み×脅威の戦略を埋める

己を知る



リスクを知る



ここまで出来たら、実行決断の
判断ができるはずです

実行への決断

さいごに…

『今の自分が、やりきれそうか』

決断しよう。覚悟を決めよう。

YOKAPROは、構想から実行までを支えるサービスを提供しています。
私たちは、「今すぐやるべきです」とは言いません。
実行するのはあなた自身です。
「悩んでいる…」「迷っている…」「まだ決めきれない」
そんなフェーズであっても、
「決断」のための整理と対話を、私たちは全力で支援します。

お問い合わせ

メール、または、LINEにてお気軽にお問い合わせください



会社名 株式会社YOKAPRO



担当 岡田 弘菜



メール info@yoka-pro.com



WEB <https://yoka-pro.com/service/>



(株)YOKAPROお問い合わせ窓口
ID: @500lgdcm

「いつでも相談していい場所」として、YOKAPROをご活用ください



ふるさとの“よかもん”にともに向き合う